

エクアシールド対応

～肝細胞癌～ 抗PD-L1 ヒト化モノクローナル抗体レジメン

[アテゾリス'マブ' + ヘ'バシス'マブ'療法/3W] (テセントリク + アバスチン)

【投与量】

アテゾリス'マブ' : ATZ (テセントリク注) 1200mg/body day1 静注 (初回 60 分※)

※忍容性よければ 2 回目以降 30 分まで短縮可。

ヘ'バシス'マブ' : Bv (アバスチン注) 15mg/kg day1 静注 (初回 90 分※※)

※※忍容性よければ 2 回目は 60 分、3 回目以降は 30 分まで短縮可。

【投与スケジュール】 3 週ごと PD まで

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	...	18	19	20	21	日目
テセントリク	●																				
アバスチン	●																				

☆ 3 週間毎に繰り返し行います。

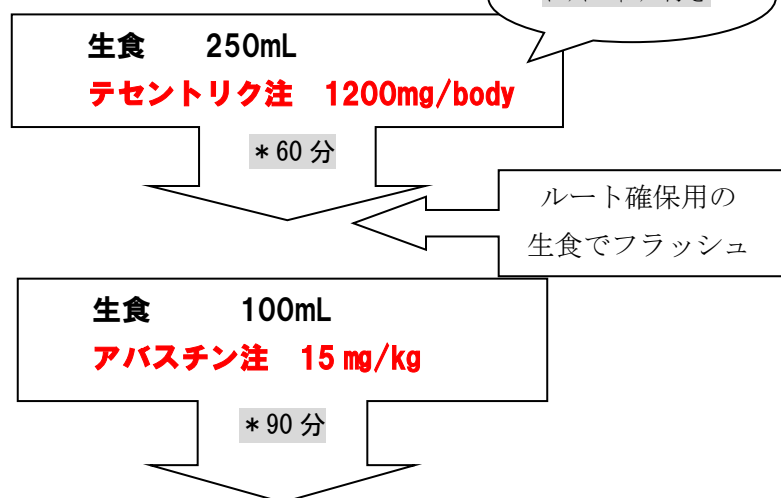
☆ 検査の結果によってスケジュール・投与量が変わることがあります。

【点滴内容】

～末梢メイン～

生食 100mL
100mL/時間
ルート確保用です。ルート確保後は止めて頂き、アバスチン投与終了後フラッシュ用に使用してください。

～側管より投与～



*

- ☞ テセントリクの投与時間は、初回は 60 分、忍容性よければ 2 回目以降は 30 分まで短縮可。
- ☞ アバスチンの投与時間は、初回は 90 分、忍容性よければ 2 回目は 60 分、3 回目以降は 30 分まで短縮可。

【フィルター】

☞ テセントリク

☞ 必要 → インラインフィルター（0.2 または 0.22 μm ）を用いて投与。

☞ アバスチン

☞ 不要

【ルートライン】

✓ 特に規制なし

【心電図モニター】

✓ 不要

【制吐薬適正使用ガイドライン 2015 第 2 版（一部改定版 ver2.2）】

📄 レジメンでのリスク：中等度リスク

- テセントリク：軽度リスク（low emetic risk：催吐頻度 10～30%）
- アバスチン：最小度リスク（minimal emetic risk：催吐頻度<10%）
- 👉 テセントリク+アバスチンの前投薬、支持療法についての安全性、有効性は確立しておらず、IMbrave150 試験においては初回投与時、前投薬は行わない、と規定されていた。
- 👉 当院でも基本的に前投薬は行わないが、1 サイクル目の投与で infusion reaction 関連事象（IRR）を発現した患者に対しては、2 サイクル目以降で抗ヒスタミン剤や解熱鎮痛剤（アセトアミノフェンなど）の前投薬を考慮する。

【血管外漏出】

- テセントリク（ATZ：抗 PD-L1 ヒトモノクローナル抗体）：非炎症性
- アバスチン注（Bv：抗 VEGF ヒトモノクローナル抗体）：非炎症性
- 👉 漏出時、処置後局所冷却。
- 👉 詳細の対応については外来化学療法運用マニュアル p14 を参照。

【調製時注意点】

- ℞ テセントリク：アテゾリズマブ
- ☒ エクアシールド対応：1200mg ⇒ バイアルアダプタは VA-20 を使用

- ℞ アバスチン：Bv
- ☒ エクアシールド対応：100mg、400mg ⇒ バイアルアダプタは VA-20 を使用

【留意点】

🔗 テセントリク：アテゾリズマブ

- テセントリクは PD-L1 を標的とする薬剤である。PD-L1 は免疫抑制分子の一つであり、T 細胞上の PD-1 と結合することによって T 細胞の活性化を抑制する働きを示すと考えられている。
- 🔗 免疫関連副作用などの詳細は適正使用ガイドを参照。

🔗 アバスチン注：Bv

- Bv による高血圧、出血、タンパク尿、血栓塞栓症に注意。
- 🔗 拡張期血圧が徐々に上昇する。自宅での血圧測定をお薦めする。
- 🔗 鼻血や歯肉などから軽度の出血がみられることがある。10～15 分たっても止まらない場合は連絡していただく様説明。
- 🔗 めまい、足の浮腫みや痛み、突然の息切れ、ろれつが回らない、などの症状あれば血栓塞栓症を疑い、病院に連絡して頂く様説明。
- 🔗 手術前後 4 週間は Bv の投与を避ける。ポートの挿入などの小手術は可能(創傷治癒遅延の恐れのため)。

[メモ]

- 🔗 IMbrave150 試験において、副作用のためにテセントリクまたはアバスチンを休薬または中止した患者の単剤療法継続を許容していた。
- 🔗 IMbrave150 試験のテセントリク+アバスチン併用群(329 例)で有害事象によりテセントリクを中止したのは 28 例、有害事象でアバスチンを中止したのは 48 例だった。

【レジメン登録日】

- 2021 年 1 月 19 日

【レジメン登録医師】

- 大山 繁和 Dr (外科)

【参考資料・参考文献】

- 📖 各薬剤インタビューフォーム
- 📖 テセントリク点滴静注 適正使用ガイド
- 📖 N Engl J Med 382 : 1894-1905、2020